

# あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌

2013 年新春号 (年 4 回発行)



イメージキャラクター  
あさのちゃん

2013 年も  
宜しくお願い  
いたします。



## 2013 年 年始式

新年 1 月 4 日 (金)、当院では年始式を行いました。

我々職員一同は小市理事長、大西病院長の挨拶および訓示を受けて、気持ちも新たに仕事をスタートすることができました。職員向けの内容ではありますが、ここに小市理事長の挨拶を紹介させていただきます。



### 新年の挨拶

理事長 小市 勝之

明けましておめでとうございます。

この年末年始の間、当院の救急外来は毎日多くの患者様が来ていました。休日の対応にあたっていただいた職員の方々には、深く感謝申し上げます。また、最近は平日休日を問わず、救急車搬送台数が増え、入院になる患者様も増えていきます。職員全員が患者様、医療機関の先生方、地域の救急隊の皆様から信頼される病院を目指して、日々の業務を行っているおかげだと感じております。

さて、昨年は当院主催の勉強会や講演会が多く開催されましたが、特に 11 月に行われた医療連携の会は、私にとって印象深いものとなりました。福島県相馬市から開業医の早川先生をお招きして、被災地の生の声をお聞きすることができたのです。医師会からも多数の先生に参加していただき、石川県医師会 JMAT の団結を再確認するとともに、今

後につながる貴重なご意見を伺うことが出来ました。そして、震災や原発事故を風化させてはいけないという思いを新たにいたしました。

一昨年の東日本大震災は当初、千年に一度の想定外の災害だったとされていましたが、最近は少なくとも数百年に 1 回みられる、想定内の規模だったという説もあるようです。次はいつ、どこで巨大地震が起こるのか、ということにも対応しなければいけない問題です。さらに日本は長引く不況の中、円高をはじめとする 6 重苦など解決すべき多くの課題を抱えています。

その中で私は今、日本の直面している最大の危機は人口減少だと思えます。2004 年にピークになった人口が 100 年後には現在の半分以下の 5000 万人を下回るということです。100 年後のことを言っても想定外と言われるかもしれません。では 10 年、20 年、30 年先はどうかというと、現在よりさらに高齢者が増えていく、というのが大きな流れだと思います。それを見越したように、最近は高齢者住宅や介護施設が増えています。

私達、法人の使命は、在宅医療や介護医療と切れ目のない関係を築き、しっかりした医療を効率よく提供できるようにする事であり、将来の日本を支えるために重要なことだと考えています。10 年先のことも 1 年 1 年の積み重ねだと思えます。皆様、今年もよろしくお願いいたします。



### 病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

### 病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様によさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。



## 早期胃がんについて

特任副病院長・外科部長 中野 達夫

「人間はなぜ癌になるのだろうか?」これは小学生の時の私が抱いた疑問ですが、それから40年経った現在も、人類共通の問題です。癌が無くなれば、人々が受ける苦しみは減り、よりよい世の中となることでしょう。

まず、なぜ胃癌になるか?ですが、人間の体を構成する細胞が分裂する際、癌遺伝子が発現すると癌化するとされています。癌抑制遺伝子の存在も知られており、これらの異常によって癌が発生するというわけです。現在、癌化のメカニズムは十分に解明されておらず、癌を防ぐことは未だ不可能です。ただ、胃癌の原因となるものとして、ピロリ菌、たばこなどが挙げられており、特にピロリ菌については除菌療法が有効とされています。

胃の構造は、内側から粘膜、粘膜下層、筋層、漿膜下層、漿膜からなっており、胃癌は最も内側の粘膜から発生します。そして発生した胃癌は粘膜から次第に深く食い込んでいき、粘膜下層に達します。粘膜にとどまる癌はリンパ節や肝臓などへの転移を起こしませんが、粘膜下層に入るとリンパ節転移を起こしはじめます。ここまでは早期胃癌とされ、現代の医学では治療によって、ほとんどの方が治ります。そして、次に紹介する内視鏡治療や腹腔鏡下手術が適応可能です。しかし、さらに深く食い込み、筋層に達すると進行癌となり、通常の開腹手術により胃を広範に切除する必要があり、リンパ節転移や、肝臓など胃から離れた臓器への遠隔転移を起こす場合があります。治療後の再発を起こす可能性が出てきます。(図1参照)

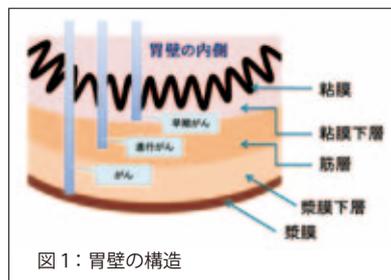


図1: 胃壁の構造

浅ノ川総合病院では、早期胃癌に対して、粘膜にとどまるものの一部には内科での内視鏡治療、粘膜にとどまるものの一部から粘膜下層に達したものに対しては、外科で腹腔鏡を用いた手術を適応しています。内視鏡治療では、胃切除を伴わないため、治療後の障害が少なく済みます。腹腔鏡下手術は、キズが小さく、術後の疼痛が少なく、回復が早い手術です。『患者様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します』という、浅ノ川総合病院の理念は、まさにこの早期胃癌の治療に当てはまるものと考え、毎日の診療にあたっています。

早期胃癌は症状が出ない場合がほとんどです。したがって、検診や何かのきっかけで胃カメラを受けて見つかる場合がほとんどです。早期胃癌の状態で見つければ、上記のような負担の少ない治療が受けられます。逆に、進行胃癌の状態で見つければ、お腹を大きく切る必要があるどころか、せつかく治療を受けても、再発して生命に関わる可能性さえ出てきます。ですから、胃癌も早期発見、早期治療が強く望まれます。皆さん、年に一回は検診などで胃カメラを受けましょう!

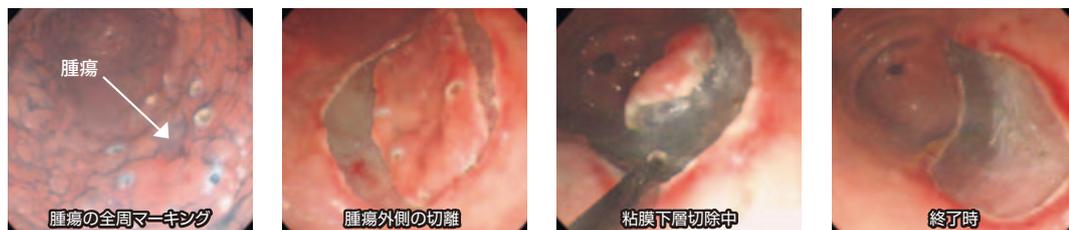
癌診療の推進は、政府の政策でもあり、平成18年に成立したがん対策基本法に基づいて政府が平成19年に策定したがん対策推進基本計画がその根幹にあります。全国にがん診療連携拠点病院を設置し、がん診療の質を高めるとともに、全国的な均てん化を図っています。さらに各都道府県には、地域の特性に応じた自主的かつ主体的な施策を盛り込むことを望み、石川県では地域がん診療連携推進病院、協力病院を設置し、当院は推進病院に認定されています。

癌診療の進歩はめざましく、私たちは常に新しい知識を得てゆく必要があります。癌を治す!という意気込みを持ち、これからも知識や技術を向上し、頑張っていきたいと思えます。

### 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD: Endoscopic Submucosal Dissection)

### 腹腔鏡下手術後の傷跡

#### ESD 実施時の胃カメラの映像



腹腔鏡を用いた外科手術の傷跡 (腹腔鏡補助下幽門側胃切除術後創)

内視鏡治療の様子(ESD: 内視鏡的粘膜下層剥離術)…治療部分を特別な薬剤で染色し、内視鏡で治療部位を切除します。

## 部門紹介 検査部

# 患者様の診断や治療効果の判定、 予防のために必要な臨床検査 データを提供しています。

検査部では、患者様が正確な診断と、適切かつ迅速な治療を受けるために必要な検査を行っています。特別な検査を除き、30分以内に医師へ報告する体制を整えています。

ここでいろいろな検査を行っているのが、“臨床検査技師”という国家資格免許を取得した職員です。担当する検査によっては患者様と接することが極端に少ないので、ご存じない方も多いと思いますが、外来患者様の採血や心電図を行っている者、検査室内のフロアで機械や顕微鏡の横で作業をしている者、みんな臨床検査技師です。

現在、19名の臨床検査技師が勤務しています。24時間、患者様に正確な検査データを提供できるよう、日々新しい技術・知識を習得し、経験を積み重ねながら、臨床検査技師免許とは別に、各自の専門分野について、学会の認定資格や上位の学位を取得しています。

また、データの精度を保証する施設認定の取得にも、積極的に取り組んでいます。

※ 下記 [施設、部員資格取得一覧] をご参照ください。



## 検査部の主な業務



### 外来採血

外来患者様の採血は、基本的に検査部で行っています。病院長が掲げるテーマのもと、明るく、元気な対応を心がけております。消毒や止血の方法など、採血に関するご要望は、お気軽にお申し付けください。

※昨年11月より、待合方法を変更しました。  
採血をされる患者様は、検査部窓口で  
番号札をお受け取りください。

## 検体検査

### 【生化学的検査】

肝臓の機能：AST(GOT)・ALT(GPT)など  
腎臓の機能：BUN・クレアチニン・電解質など  
生活習慣病：血糖・コレステロール・中性脂肪・尿酸など

### 【血液学的検査】

赤血球数・白血球数・ヘモグロビン濃度・血小板数など

### 【免疫血清学的検査】

血液型・肝炎、インフルエンザ、ノロウイルスなど

### 【糞便・尿検査】

尿蛋白・尿糖・ギョウ虫検査・便中ヘモグロビン・妊娠反応など

### 【細菌学的検査】

大腸菌(O-157等)・結核菌・肺炎球菌・レジオネラ菌など

### 【病理学的検査】

組織診断・細胞診断など

## 生体検査

### 【生理機能検査】

心電図・脳波・肺活量・筋電図など

### 【超音波検査】

心臓、血管エコー・甲状腺エコーなど

## チーム医療への参加

院内感染対策チーム(細菌検査担当検査技師)

生活習慣病改善チーム(糖尿病療養指導士)

栄養サポートチーム(NST 専門療法士)

## 「緑の下の力持ち」 検査部 技師長 駒井 啓吾

私達の仕事は、採血や生理検査の担当者を除けば、患者様と直接お会いすることがほとんど無く、目立たない存在ですが、部員全員が一丸となり、患者様にとって最良の医療が提供されますよう、正確なデータを迅速に提出するのももちろんのこと、医師、看護師をはじめとする他職種との交流を密にして、円滑な診療支援を心がけています。

患者様が検査の結果をご覧になった時、われわれ臨床検査技師の存在を少しでも思い浮かべていただければ幸いです。

### 【施設、部員資格取得一覧】

- ・細胞検査士(日本臨床細胞学会・国際細胞学会認定)
- ・超音波検査士(日本超音波学会認定)
- ・心電検査技師(日本臨床衛生検査技師会認定)
- ・緊急臨床検査士(日本臨床検査医学会・日本臨床検査同学院認定)
- ・糖尿病療養指導士(日本糖尿病療養指導士機構認定)
- ・NST 専門療法士(日本静脈栄養学会認定)
- ・POCT コーディネーター(日本臨床検査自動化学会認定)
- ・医療情報技師(日本医療情報学会)
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本臨床衛生検査技師会精度保証認証施設

※患者様に臨床検査の目的をご理解いただくために、主な検体検査についての説明書“検査の目的と基準値”を発行しています。検査部または各科外来待合に設置してありますのでご利用ください。

最新版は2012年11月改訂版です。過去の表記と異なりますので、こちらを参照してください。

## 連携登録医のご紹介

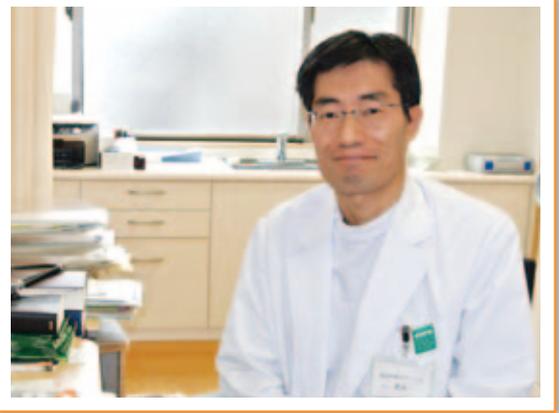
今回は、平成19年9月開院された『荒井内科クリニック』をご紹介します。

いつも大変お世話になっております。当院は平成19年9月に吉原町に開業致しました。

私自身は医師になってから、主に循環器内科を専攻していましたが、勤務医生活の後半の4～5年間は縁あって救急部に勤務し、その経験が現在の診療に役立っております。

開業してからは、糖尿病、脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病や感冒の患者様が大半ですが、急性腹症、脳血管障害、循環器疾患等の救急疾患にも少なからず遭遇しています。その度に浅ノ川総合病院の先生方にはお世話になっており、大変感謝致しております。紹介させて頂いた患者様の中には、虫垂炎の疑いが急性腸炎であった等、取り越し苦労の症例も少なからず含まれており、オオカミ少年（中年）の誇りを免れないような嫌いもありますが・・・

今後も地域の皆様から気軽に相談して頂くかかりつけ医として、日々の診療に従事してゆく所存でございます。御指導・御鞭撻の程どうか宜しくお願い申し上げます。



〔 院長 あらい けんや 荒井 健哉 先生 〕

平成 4年	福井大学医学部 卒業
平成 5年	福井医科大学附属病院（現福井大学医学部） 第一内科（循環器・血液内科）勤務
平成 6年	光陽生協病院内科 勤務
平成 7年	長浜赤十字病院 勤務
平成15年	福井大学医学部附属病院救急部助手
平成19年	石川県立中央病院救急・総合診療部勤務
平成19年9月	荒井内科クリニック 開業



### 訪問一言コメント

先生の楽しいお人柄と、地域医療に対する強い責任感の表れたお言葉に感動いたしました。

## 荒井内科クリニック

院 長：荒井 健哉

診療科：循環器疾患、生活習慣病、その他の内科疾患等

診療時間

△…土曜午後は 17:00 まで

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00～18:00	○	○	/	○	○	△	/

休診日：水曜午後・日曜・祝日

住所：石川県金沢市吉原町八 20 番地

電話：076-258-0167 駐車場：15 台あり



## 連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

平成 24 年 11 月 16 日(金) ホテル金沢にて「百万石医療連携の集い 東日本大震災(3.11)を忘れない-JMAT 石川県医師会の福島県相馬市での活動を顧みて-」が開催されました。JMAT 石川として被災地支援に携わった県内の医師、コメディカル含む多数の参加を賜り、盛況な会となりました。

一般講演として、JMAT 石川第 1 陣として被災地へ赴いた芳珠記念病院 副院長 佐久間 寛先生が、JMAT 初期活動の報告と有事に活かすべき課題について話されました。また、第 7 陣として赴いた城北病院 副院長 斉藤 典才先生が、第 6 陣として赴いていた当院の荒木一郎統括副院長からの引き継ぎ、チーム連携など人と人の絆の重要性について話されました。

特別講演では福島県相馬市の医療法人緑樹会早川医院 理事長 早川知彦先生から、津波の動画、震災直後の詳細な記録、統計データ、問題、教訓、医師会、役場とのやりとりなど様々なエピソードを含めた講演がなされ、最後は JMAT 石川への感謝を込めた動画で締めくくられました。

講演会は石川県医師会会長 近藤邦夫先生から、早川知彦先生や JMAT 石川への感謝、石川県医師会としての災害対応の目標を含めた閉会の挨拶で終了となりました。

講演会終了後には情報交換会が行われ、当時の苦労話や今後の団結、感謝の言葉が飛び交う旧交を温めた会となりました。

今後も東日本大震災で得た教訓をもとに課題を検討し、災害時に必要とされる医療体制の整備に努めます。

※JMAT：「日本医師会災害医療チーム」の略称(Japan Medical Association Team)



早川 知彦 先生



神経内科 紺谷 智 医師

医療福祉がん相談室では、日頃より「地域の皆様にとって身近な病院でありたい」と考えております。

この度、当院の医師が交代で講師を務め、和やかな交流を行うことで、より「顔の見える連携」を深めたいと思い、日頃からお世話になっている施設の相談員様やケアマネジャー様との合同研修会「医師による医学講座」を企画いたしました。

第 1 回目は昨年 9 月 13 日に、織田展成 内科医師と高坂美香 看護師長による「糖尿病ってどんな病気？」をテーマに開催しました。

第 2 回目は新年 1 月 17 日に、紺谷智 神経内科医師による「脳卒中

と認知症について」をテーマに開催しました。

いずれも 120 名を超えるご参加をいただき、会場に入りきらないほどの大盛況となりました。講座内容は日常の業務にも関連が深く、参加者からは「分かりやすかった」「今後に役立つ」「続けて参加したい」といったお言葉をたくさんいただいております。

今後も皆さまのご意見を参考にしながら、この研修会を定期的を開催し、地域を支える専門職の方々との交流の場にしていきたいと思っております。



第 2 回 相談員・ケアマネ合同研修会の開催風景

## 特別座談会 認定看護師に合格したお二人に聞きたい!!



前回から  
つづき

### 「認定看護師」取得までの道のりとその後。

後編

前回に引き続き、「認定看護師」の資格を取得した、余田昭彦さんと江波麻貴さんに認定看護師の実態とこれからの抱負などをお聞きしました。聞き手は看護師4年目の石田愛河さんです。



透析看護認定看護師

余田 昭彦

(よだ あきひこ)

看護師歴：15年目  
透析センター勤務（副看護師長）



感染管理認定看護師

江波 麻貴

(えなみ まき)

看護師歴：10年目  
感染対策室勤務

### 学生に逆戻り 苦労は買ってでもすべし！

**石田愛河** (以下石田) 資格を取得する難しさなど、苦労した面はありますか？

**余田昭彦** (以下余田) 生活面で言うと、家族と離れての一人暮らしは苦労しました。実習が始まると本当に忙しくなりますし、レポートなどで睡眠時間が少なかった時期もありました。

**江波麻貴** (以下江波) 課題と試験のオンパレードに苦労しました。覚えることが多すぎるのです。自分のキャパシティを超えていました。でも、仲間たちの年齢層は幅広く、20代は頭が柔らかいと言われ、50代は経験値が高いと言われ、みんな条件は一緒だと考えた時、頑張るしかない！と思いました。教育課程を終了した後の達成感は経験した人でないと味わえないものですし、仲間との出会いはこれからも大事なことがとても分かりました。

**余田** 仲間との団結力は強くなりました。実習後に行った発表会は皆で協力し、運営も自分達で行いました。

**江波** 辛くて泣いている人もいたけど、得意分野をお互いにサポートしあったりして、楽しい学生生活でした。

**余田** 給料を頂きながら勉強できるというのは贅沢です。辛い時もあり、帰りたくなったこともありましたが、新しい知識や技術を吸収できるのは大変良い事だと思います。大変な環境だと思いました。

**石田** 課題量はかなり多いのですか？

**江波** 1日3～5教科のテストが1週間続くこともありました。細かい分野を合わせると全部で17教科ありました。

**余田** 私の場合は12月に試験が続きました。レポートで終わる教科もありました。課題はグループワークが多かったですね。みんなで意見を出し合うような感じです。

**石田** 課題は教科や分野、学校によってもそんなに違うのですか？

**江波** 分野によって求められるものも違います。感染の場合は、院内全体を見わたす力を試されることもありました。

### 「認定看護師」は認定試験に合格してからがスタートです！

**石田** 認定看護師の資格を得て、何か変わったことはありましたか？

**余田** 相談が増えました。最新の情報、正しい知識を常に習得してスタッフや患者様に伝えないといけないので、責任感もその分強く感じます。資格を取得したからゴールじゃなくて、今やっとスタートだと感じています。

**江波** まだ始まったばかりですが、スタッフのみならず、他部門の職員や看護師長からの相談が増えたのは嬉しいことです。信頼関係を築きあげられる認定看護師として、多職種といつでも気軽にコミュニケーションをとれたらいいなと思っています。ミーティングもしたいです。結局一人では何もできないので、将来的には浅ノ川認定看護師会を設立したいです。

**余田** 院内でも間もなく発足できるのでは？飲み会からでも？活動報告の場や、情報交換もできますよね。いろいろな分野の認定看護師がいるといいな、と感じています。

**石田** 患者様からの反応はありましたか？

**余田** 「何の資格？」「どんなことをするの？」と聞かれました。また、よく相談を受けるようになりました。

**江波** 院内ラウンドもしますし、患者様との関わりはこれからもっと増やしたいです。認定看護師を取得するために勉強し、実際に現場で働く中で、感染対策専任看護師長である林師長が約10年間、感染対策に携わってきた大変さがしみじみ分かりました。今も指導を受けながらの業務ですが、二人でもまだ時間が足りないくらいです。ぜひ、皆さんに認定看護師の資格をとってほしいです。

### これから認定看護師を目指す方々へのメッセージをお願いします。

**余田** 病院が経済的にバックアップしてくれて、学習できるというのは大変恵まれたことです。家族、部署の協力が得られるのであれば、少しでも早いうちにチャレンジしてほしいです。同じような志をもった全国の心強い仲間と会えますし、卒業後も質問し合えるという関係が続いています。

**江波** 少しでも興味があれば諦めずに挑戦してほしいです。給料をいただきながら、一つ分野を勉強できるのはありがたいことです。看護師人生の大きな糧となります。学費以上に得るものがあります。

### 座談会を終えて…



石田 愛河  
(いしだ あいか)  
看護師歴：4年目  
本館7階病棟勤務

お二人の話を聞いて、資格取得までの勉強は大変そうというより楽しそうという想いが強くなりました。皆が同じ状況で学習できる場、意見交換できる場に行ってみたいと思いました。



## 冬を耐えぬけ！ぽかぽかレシピ

新年を迎え、早1ヶ月が経ちました。春は目前ですが、まだまだ寒い日が続くので油断は禁物です。そこで今回は、体を温め、冬を元気に過ごすためのレシピをご紹介します。

### メニュー

「里芋ごはん」「鮭の塩焼き」  
「かぶの和風スープ」  
「さつまいもの茶巾」

### 一定食 1人前

エネルギー：470kcal  
たんぱく質：26.2g  
脂質：6g  
炭水化物：84.7g  
塩分：2.6g  
食物繊維：4.47g

### さつまいもの茶巾

#### 材料 (4人分)

- ・さつまいも 中1本
- ・砂糖 大さじ1
- ・牛乳 大さじ2
- ・黒ごま 適量

#### 作り方

1. さつまいもをふかし、熱いうちに皮をむく。
2. ボウルにさつまいもとAを入れ、なめらかになるまで混ぜる。
3. ラップに包んでしぼる。器に盛り付け、黒ごまをのせる。

### かぶの和風スープ

#### 材料 (4人分)

- ・かぶ 1個
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・にんじん 2cm程度
- ・固形スープの素 1個
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・塩 ひとつまみ
- ・水 4カップ

#### 作り方

1. かぶは皮をむき、一口大に切る。にんじんは半月切りにする。玉ねぎは薄切りにして、フライパンでしんなりするまで炒める。
2. 鍋にかぶ、にんじん、玉ねぎ、固形スープの素、水を入れて、かぶが柔らかくなるまで煮る。
3. 食べる直前にかぶの葉を入れて火を通し、最後に塩としょうゆを加える。



### 里芋ごはん

#### 材料 (4人分)

- ・米 1.5カップ
- ・里芋 小2~3個
- ・油揚げ 1/2枚
- ・だし汁 270cc
- ・酒、しょうゆ 各大さじ3/4

#### 作り方

1. 里芋は皮をむき、いちよう切りにする。ボウルに入れて塩少々(分量外)をふり、よく揉んでから水で洗う。
2. 炊飯器に全ての材料を入れ、軽く混ぜて炊く。
3. 炊き上がったらさっくりと混ぜ合わせ、器に盛り付ける。

### 鮭の塩焼き

#### 材料 (4人分)

- ・鮭 4切れ
- ・塩 2g
- ・ブロッコリー

#### 作り方

1. 鮭に塩をふり、焼く。
2. 器に盛り付け、ゆでたブロッコリーを添える。

#### ワンポイント

鮭に豊富に含まれるビタミンB群は代謝をサポートし、冷えやむくみを解消します！



東洋医学では、体を温める食べ物を「陽」と呼びますが、今回のレシピは陽の食材をたっぷり使用しています。

#### \*陽の食材とその特徴

- ・かぶ：冬が旬の食材
- ・鮭：暖色(赤、黄、橙)の食材
- ・里芋、さつまいも：地下でエネルギーを蓄えた食材

体を温めて寒い冬を乗り越え、健康的に春を迎えましょう！

## QC サークル活動に向けて

当院では今年の4月からQCサークル活動を始めます。まずはその一環として、昨年12月10日に金沢脳神経外科病院の川腰晃弘氏を講師に招いて、QCサークル活動に関する全体研修会を行いました。

QCとはクオリティコントロールの略で、1960年代に製造業の現場で生まれて普及し、日本の国際競争力を強めたと言われている品質管理を目的とした活動です。医療においてその活動を行うサークルとは、医療・サービスの品質管理や改善、業務の効率化、安全対策などに取り組む院内チームのことです。



この活動により、チームはもとより、全体の能力・自主性の向上、人材育成、職場活性化などの相乗効果が期待でき、最終的にはより良い医療の提供に繋がります。

当院では大西病院長の下、『元気のある病院・元気のでる病院』をテーマに頑張っていますが、新たにQCサークル活動を通して、職員一人一人が皆様、そして地域に元気をお裾分けできるよう頑張っていきたいと思えます。



川腰 晃弘 氏

## 行事レポート

### ピアノ贈呈式

### 2012 銀河クリスマスコンサートを開催しました。

平成 24 年 12 月 24 日

主催：障害児支援ボランティア「グループ銀河」



ピアノの贈呈・感謝状授与式とともに歌やピアノでクリスマス気分を届ける出前コンサートが開かれました。あいにく朝から雪となる悪天候にも関わらず、約80人の観客は豊かな音色を存分に楽しみました。絵で表現した人形で歌の世界を表現する「ブラックパネルシアター」や障害児が奏でる鍵盤ハーモニカで、会場は温かな雰囲気になりました。



## お知らせ

当院の「ラッピングバス」を皆様ご存じですか？

2010年10月から、動く広告塔として市内を巡回しています。

「今日、あさのちゃん見たよ」とか、「このバスを見かけると、幸せな1日を過ごせる」といったような伝説(?)も飛び交ったり、病院関係者のみならず、市民アンケートでも認知度は高いようです。しかし、その「ラッピングバス」に昨年の11月から少し変化があったことを知っていますか？ 車体に、当院のテーマ『元気のある病院・元気のでる病院』が記載されたのです。

まだラッピングバスを見かけていない方、当院前の「小坂中」バス停に停車する時間を参考に、一度ご覧になってみてください。



チェンジ  
しています！

### 小坂中 停留所時刻表

#### <円光寺行き>

月～金 8:46 / 15:30 / 17:46 / 20:22

土・日祝 7:02 / 8:55 / 10:47 / 13:00

#### <柳橋、木越住宅、大浦方面行き>

月～金 7:52 / 10:11 / 16:50 / 19:05

21:28

土・日祝 8:08 / 10:03 / 12:03 / 14:14

なお、土・日祝の夕方には、上荒屋西方面へのバスとしても活躍しております。



編集  
後記

2013年がいよいよスタートしました。あっという間に月日は経ち、寒いながらも立春が過ぎ、そろそろ啓蟄を迎えようとしています。

冬眠から覚めて活動するこの時期ではありますが、私「あさのちゃん」が活躍する場所はもう少し先になりそうです。

今年もっと活躍できる機会が増えると嬉しいです。“ひこにゃん”や“くまモン”に少しでも近づき、皆様から愛される「ゆるきゃら」目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします！

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101 (代) メールアドレス: [kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp](mailto:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp)